

## Tōhoku Dialect in NHK Morning Dramas : The Persistent Stigmatization of Tōhoku Dialect in Japanese Media

メタデータ	言語: en 出版者: Shizuoka University. Faculty of Humanities and Social Sciences 公開日: 2019-02-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Kumagai, Shigeko メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00026270">https://doi.org/10.14945/00026270</a>

NHK朝ドラにおける東北方言  
日本のメディアにおける東北方言への見下し

熊谷 滋子

日本の方言学は、方言の音韻論的、形態論的、語彙論的、統語論的な調査研究を中心に研究を深めてきた。さらに、方言イメージに対する意識調査なども精力的に行ってきた。一方、最近の社会言語学的研究では、方言イメージの形成にメディアが深くかかわっていることに注目し、メディアにおける方言、方言地域、方言話者の表象を分析するものが増えてきた。本論文では、東北方言地域を舞台にしたNHK連続テレビ小説、通称朝ドラ、を対象に、東北、東北方言、東北方言話者がどのように表象され、その結果どのようなイメージをもたらしているか探る。今回対象とするのは、『どんど晴れ』（岩手県盛岡市を舞台。2007年放送）と『あまちゃん』（架空の町「北三陸」を舞台。ロケ地は、岩手県久慈市。2013年放送）の2作品である。